



真城っ子

やさしさいっぱい
かしこさいっぱい
たくましさいっぱい



■真城小学校ホームページ■ 日々、真城小学校の様子や子どもたちの活動を投稿しています。要チェック♥

命の講話 一心を見つめる教育週間・6.9 全校集会ー

今から22年前、長崎県のある小学校で、痛ましい事件がおきました。小学6年生の2人は、同じクラスの同級生で、かねてから交換ノートを交わしたり、インターネット上でメールをやりとりしたりするなどの交流を持っていました。しかし、交換ノートやホームページ上に書いてあった内容を見ているうちに、自分のことを馬鹿にして、批判しているように感じて、怒りを募らせた揚げ句、その仲良しのお友達を殺害しようと思いつきました。平成16年6月1日12時20分頃、学校の3階学習ルームの中で、カッターナイフで首を切りつけ、間もなく、失血多量により、お友達は死亡しました。

この事件をきっかけとして、真城小では、大切な命について見つめなおし、みんなの心の在り方についてしっかり考える心の週間をずっと設けています。

シャボン玉飛んだ
屋根まで飛んだ
屋根まで飛んで
こわれて消えた

シャボン玉消えた
飛ばずに消えた
産まれてすぐに
こわれて消えた

風、風、吹くな
シャボン玉飛ばそ



100年ほど昔、あるかわいらしい女の子が生まれたのですが、さあこれから元気に育ててほしいと思っていた矢先に、その女の子は一週間ほどでなくなってしまいました。その女の子のお父さんである『野口雨情』さんという人は、我が子が、天国では優しく育ててほしい。そして、だれもが命を大切に生きていてほしいとの願いを込めて、創られたのです。命をシャボン玉に例えた歌だったのですよ。「産まれてすぐに こわれて消えた」の部分が、命だと分かりやすい部分ですね。

「命」って、そもそも何でしょうか？命の始まり、それは「お母さん」から始まっているのです。お母さんである女性、生んでくれるという土台があって、命が始まります。「始まり」という漢字は、「女」という字に、基礎・基本という意味の「台」という字を書きます。『始まり』という漢字には、あなた方のお母さんが、大事な命を託してくださったんだと覚えてください。

次に、「命」という漢字を考えてみましょう。「人」を「一」「叩く」と書く。相手の人を叩くこと、蹴ること、殴ることではありません。一つ一つ叩いているのは、心臓の鼓動というあのドクドクという響きです。ひとときも休まず、体は寝ていても決して休むことのない心臓の叩きがあるからこそ、命が明日も続いている。みなさんも、そのいのちを持っているのです。

そのいのちの中には、「からだ」と「こころ」があることを忘れてはいけません。命と体、命と心は、一心同体、深くつながりあっているのです。「からだ」や「こころ」が痛んだり、壊れたりすると、心臓の鼓動は普段と違って、速くなったり不規則になったりします。あまりにも変化が大きすぎると、規則正しく心臓を叩くことができなくなったりして、人の体と心を支える命の具合が悪くなるのです。

真城小学校では、お母さんが命がけで産んでくれた体と心を傷つけている人はいないでしょうか。周りの人の「体」と「心」を傷つけようとする人は、人の命を大切にしていけないということになります。

人の体を傷つける（人を、叩く、ける）。人の心を傷つける（人の悪口や陰口を言う、人を、言われて嫌なあだ名で呼ぶ、人のものを隠す）。

命がけでお母さんが生んでくれた命を、傷つけてしまうように扱う人がこの学校にいるとしたら、それはとても悲しいことです。世界で最も大切なもの、それが命です。そして、世界で一番の宝物、それがあなた方一人一人です。

これからは、自分の命もみんなの命も、これまで以上に大切に生活してほしいと思います。いえ、大切にしていきます。

ぼく、わたしの命は、今ここに元気にありますとわかるように、大きな声でしっかり返事をします。

ぼく、私は、友達の命を大事にし、みんなのいいところや頑張っているところをたくさん見つけます。

ぼく、私は、お友達の存在を大事にして、みんなのお話を最後まできちんと聞くようにします。話の途中で口をはさみません。

ぼく、私の命は、お友達みんなの命とおんなじで、世界中にたった一つしかないものとして、大事に大事に接していきます。

最後に、「シャボン玉」の歌を、もう一度聴いて終わりにしましょう。

『授かった自分の命、周りにいるお友達の命、絶対に大事にして、力いっぱい生きないとはいけません。』

7月行事予定

1日（水） 全校集会

2日（木） 市教育委員会授業研究会
・5年2組のみ5校時、他は4校時

7日（火） 6年模擬選挙

9日（木） 学校保健委員会

17日（金） 第1学期終業式

21日（火）～28日（火）
個人面談

8月9日（日） 登校日「平和集会」



『言葉は、汝なり』

口から発せられた言葉は、その人そのものを表しているという意味。

- ・丁寧な言葉づかいの人
- ・温かい言葉づかいの人
- ・冷たい言葉をつかう人
- ・荒い言葉づかいの人

今の私は、どんな言葉づかいをしているだろう？ どんな人と思われようだろう？

きっとわたしは・・・。



■ 1年ブラッシング指導

歯科校医の本多先生にご指導いただき、1年生のブラッシング指導を行いました。磨き方のコツを覚えて、虫歯を作らないようにがんばりましょう。

■ 6年ものづくり体験

県職業能力開発協会のご指導で木工「ラックづくり」に挑戦しました。



■ 4年交通安全教室

交通安全協会のご指導で、自転車乗車のルールも含めて、交通安全指導を行いました。命を守るためのルールを、しっかり守れるようになりましょう。

